

第35回

北大
人文学
カフェ

古代の「夜食」は

話し手

吉田 拓矢さん

北海道大学大学院文学研究院 日本史学研究室 講師
「日本古代史・天文暦算史」



2025

7/26 (土)

15:00 ▶ 16:30

一暦博士とたどる
日本のこよみ

紀伊國屋書店
札幌本店

sapporo55ビル
1F インナーガーデン

参加
無料

お申し込み方法 要申し込み 先着順

当日会場参加・事後視聴の2種類の申込方法があります。いずれも右のQRコードよりホームページへアクセスし、フォームよりお申し込みください。
リンク先URL: <https://www.let.hokudai.ac.jp/event/26878>

申込締切 | 2025/7/25 (金) 12:00



150th
HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学
創基150周年記念事業

北海道大学は2026年で
150周年を迎えます

●会場で参加される方には、イベント終了後に事後視聴のご案内をいたしますので、オンライン事後視聴の申込は不要です。●申込が定員に達した場合は、事後視聴をご案内します。●当日は、会場の都合により同時配信ができません。遠方在住の方や、当日都合により参加できない方は、事後視聴にてご参加ください。

古代の「夜食」は日食の話です

— 暦博士とたどる日本のこよみ —

日本の現行のこよみは、1年365日を基本とする太陽暦です。1873年の明治改暦から現在に至るまで約150年、私たちは太陽暦のもとで暮らしています。これに対して、古代より明治改暦までのこよみは、月の満ち欠けと太陽の年周運動とを基準に日付を決める、太陰太陽暦でした。つまり、かつては月と太陽の運動を推算できる専門家にしか、カレンダーを製作することはできなかったのです。

このような背景から、古代より朝廷には暦博士（れきはかせ）という専門職がおかれ、カレンダーを毎年製作していました。カレンダーにはさまざまな天文現象も載せられていましたが、なかでもとりわけ難しかったのが、日食の予測です。これに頭を悩ませ、「夜食」なるものまで創り出してしまった暦博士たちを主人公に、いにしえのカレンダーづくりの現場をご紹介します。



話し手のプロフィール

よしだ たくや
吉田 拓矢さん

北海道大学大学院文学研究院
日本史学研究室 講師
[日本古代史、天文暦算史]

1994年札幌市生まれ。北海道札幌北高等学校卒業、北海道大学文学部卒、同大学大学院文学院修士、博士（文学）。日本学術振興会特別研究員を経て、2023年4月より現職。専門は日本古代史。

人文学Café

北大人文学
カフェとは

北大人文学カフェは、北海道大学 大学院文学研究院・文学院の研究者と、飲み物を片手に気軽に語り合うイベントです。

内容は哲学、歴史学、文学、社会学、心理学などさまざま。人文学・人文社会科学の楽しい話題を通して、みなさんと北大文学研究院との交流を深めていくことを目指しています。

<https://www.let.hokudai.ac.jp/research/cafe>

お問い合わせ先

北海道大学 大学院文学研究院 研究推進室

〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目

TEL/011-706-4083 Email/kenkyu@let.hokudai.ac.jp

150th
HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学は2026年で
150周年を迎えます。

主催

北海道大学大学院文学研究院
人文学カフェ企画ワーキンググループ